



2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社ジェイテックコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 3446 URL http://www.j-tec.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津村 尚史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 日谷 哲也 TEL 072 (655) 2785
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績（2023年7月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	803	△27.6	△287	-	△269	-	△206	-
2023年6月期第3四半期	1,109	57.2	31	-	90	-	42	-

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 △206百万円 (-%) 2023年6月期第3四半期 42百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	△35.07	-
2023年6月期第3四半期	7.27	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	3,153	2,291	72.7
2023年6月期	3,465	2,478	71.5

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 2,291百万円 2023年6月期 2,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年6月期	-	0.00	-	-	-
2024年6月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,630	37.8	540	76.1	557	53.1	358	50.4	61.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期3Q	5,880,000株	2023年6月期	5,873,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期3Q	970株	2023年6月期	940株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期3Q	5,876,024株	2023年6月期3Q	5,868,805株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、品質不正問題による自動車関連産業の生産減少の影響を受け、製造業において景況感が若干悪化したものの、堅調な業績を背景に半導体などの成長産業や人手を補う省力化に向けた設備投資計画が旺盛であることから、先行きの景況感も良好な状態が期待されます。一方で、中東情勢の緊迫化や強い米国景気を背景にした世界的なインフレの長期化懸念によって、日本企業の業績への影響が懸念されております。

このような経済環境のもと当社グループは、オプティカル事業、ライフサイエンス・機器開発事業及びその他事業（電子科学株式会社）という独自の技術を利用した3つの事業により、経営基盤の強化と拡充に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高803,648千円（前年同四半期比27.6%減）、営業損失287,228千円（前年同四半期は31,803千円の利益）、経常損失269,198千円（前年同四半期は90,477千円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失206,099千円（前年同四半期は42,648千円の利益）となりました。

セグメントの経営成績は、次の通りであります。

(オプティカル事業)

当第3四半期連結累計期間は、国内（施設：SPring-8、NanoTerasu）向けの案件が中心となり、アメリカ（施設：APS）、ヨーロッパ（施設：ESRF、Eu-XFEL）、中国（施設：HEPS、SSRF）などの各施設向け案件が業績に寄与いたしました。

当社の主な販売先である国内外の放射光施設やX線自由電子レーザー施設における需要については、国内の放射光施設をはじめ、欧米及び中国の放射光施設においてバージョンアップや新設計画が順調に展開しており、受注活動も良好に推移している状況にあります。特に中国、台湾、韓国においては、新設計画やバージョンアップの案件のみならず、リプレイス案件の需要も高まっており、アジア市場は全般的に中長期的な成長が見込まれる良好な環境となっております。

新設計画やバージョンアップの案件において需要の高い高精度品につきましては、研究開発要素が多く含まれていることから、製造工数が上昇傾向にあるため、適切な生産管理の実施によって工期短縮を図りつつ、高い品質の維持と生産性の向上に努めております。

また、これまでの主たる取引先である大学や公的研究機関との更なる取引拡大はもとより、当社の独自技術を応用したX線ナノ集光ミラー以外の産業分野における市場開拓を模索しており、長期成長戦略の最終年度である2030年に向けて、次世代半導体関連分野や宇宙関連分野への適用を計画しております。直近におきましては企業を対象とした営業展開を活発化させており、可視光・レーザー・X線領域の高精度光学素子に対する問合せが増加していることから、新規分野での企業間取引拡大に力を注いでまいります。

この結果、売上高は396,624千円（前年同四半期比45.3%減）、セグメント利益は4,081千円（前年同四半期比98.3%減）となりました。

(ライフサイエンス・機器開発事業)

当第3四半期連結累計期間は、ライフサイエンス関連では装置メンテナンス、消耗品販売、受注生産装置、機器開発関連では受注生産装置改良や次世代加工・研磨装置を使用したテスト加工の案件などが業績に寄与いたしました。

重点新規事業分野である各半導体材料を対象としたナノ表面加工技術を応用した装置事業につきましては、触媒基準エッチング法（CARE）、プラズマ援用研磨法（PAP）、プラズマ化学気相化加工法（PCVM）に加え、陽極酸化反応を活用した高効率な表面研磨技術である「電気化学機械研磨技術（ECMP）」を搭載した装置の開発および製品化を推進しております。

今後期末に向けて、機器開発事業の重点新規事業分野として掲げる次世代加工・研磨装置を中心に、ライフサイエンス事業における汎用型自動細胞培養装置や各種培養装置の受注および販売活動を推進しております。特に、当社が更なる成長を遂げるための原動力となる新規事業分野の実績を確立するため、中長期的成長に向けた技術基盤確立と販売力強化を図っております。

この結果、売上高は66,862千円（前年同四半期比18.5%増）、セグメント損失は85,972千円（前年同四半期は88,109千円の損失）となりました。

(その他事業)

その他事業である子会社の電子科学株式会社の売上構成は、装置販売（TDS：昇温脱離分析装置）、装置のメンテナンス業務、受託分析業務の3つに分かれますが、受注金額が大きくなる主力事業の装置販売において5件（販売先：国内2件、韓国2件、台湾1件）の案件が業績に寄与いたしました。

現在、電子科学株式会社の分析技術と当社の自動化技術との連携を行い、新しい製品の企画、創出に注力しており、営業活動においても対象マーケットの幅を広げるため、当社のチャネルを活用して収益機会の拡大を図っております。

研究開発と販売の両面でグループ企業としての強みを活かし、新たな市場に製品投入することで新規顧客の開拓を進め、収益力の拡大に努めております。

この結果、売上高は340,561千円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益は39,065千円（前年同四半期比56.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,288,817千円となり、前連結会計年度末に比べ388,498千円減少いたしました。これは主に、仕掛品が101,622千円、その他流動資産が81,606千円の増加となった一方で、現金及び預金が208,678千円、売掛金が406,720千円の減少となったことによるものとなります。固定資産は1,864,700千円となり、前連結会計年度末に比べ76,997千円増加いたしました。これは主に、のれんの償却により31,787千円減少した一方で、繰延税金資産が81,394千円、機械装置及び運搬具が14,102千円、投資有価証券が14,301千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,153,517千円となり、前連結会計年度末に比べ311,501千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は385,593千円となり、前連結会計年度末に比べ65,840千円減少いたしました。これは主に、契約負債が45,288千円増加した一方で、買掛金が47,077千円、未払法人税等が63,494千円の減少となったことによるものであります。固定負債は476,839千円となり、前連結会計年度末に比べ57,837千円減少いたしました。これは主に約定返済によって長期借入金が56,592千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は862,432千円となり、前連結会計年度末に比べ123,677千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,291,085千円となり、前連結会計年度末に比べ187,823千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が206,099千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年2月13日に「2024年6月期 第2四半期決算短信」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	783,128	574,450
電子記録債権	1,536	-
売掛金	577,029	170,309
商品及び製品	33,652	76,746
仕掛品	173,008	274,630
原材料及び貯蔵品	66,643	68,757
その他	45,545	127,152
貸倒引当金	△3,228	△3,228
流動資産合計	1,677,316	1,288,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	749,218	721,894
機械装置及び運搬具(純額)	208,999	223,102
土地	340,429	340,429
建設仮勘定	20,487	46,729
その他(純額)	9,802	8,993
有形固定資産合計	1,328,938	1,341,149
無形固定資産		
のれん	349,659	317,872
その他	7,719	6,071
無形固定資産合計	357,379	323,944
投資その他の資産		
投資有価証券	17,233	31,534
繰延税金資産	66,706	148,101
その他	17,445	19,970
投資その他の資産合計	101,385	199,606
固定資産合計	1,787,703	1,864,700
資産合計	3,465,019	3,153,517

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,642	58,564
1年内返済予定の長期借入金	75,456	75,456
未払法人税等	63,494	-
契約負債	91,895	137,183
賞与引当金	22,675	35,593
その他	92,270	78,795
流動負債合計	451,434	385,593
固定負債		
長期借入金	521,963	465,371
役員退職慰労引当金	1,650	1,650
退職給付に係る負債	2,199	953
その他	8,864	8,864
固定負債合計	534,676	476,839
負債合計	986,110	862,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	828,771	837,948
資本剰余金	788,771	797,941
利益剰余金	861,917	655,817
自己株式	△550	△621
株主資本合計	2,478,908	2,291,085
純資産合計	2,478,908	2,291,085
負債純資産合計	3,465,019	3,153,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,109,299	803,648
売上原価	408,541	361,744
売上総利益	700,758	441,904
販売費及び一般管理費	668,954	729,132
営業利益又は営業損失(△)	31,803	△287,228
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	2	-
受取保険金	5,191	464
助成金収入	1,500	141
補助金収入	56,883	17,969
為替差益	-	1,134
その他	315	1,413
営業外収益合計	63,898	21,129
営業外費用		
支払利息	2,956	2,310
為替差損	1,152	-
投資事業組合運用損	-	631
その他	1,115	158
営業外費用合計	5,224	3,099
経常利益又は経常損失(△)	90,477	△269,198
特別利益		
固定資産売却益	299	-
特別利益合計	299	-
特別損失		
固定資産除売却損	-	1,656
減損損失	2,803	1,837
特別損失合計	2,803	3,494
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	87,973	△272,692
法人税、住民税及び事業税	30,947	14,802
法人税等調整額	14,377	△81,394
法人税等合計	45,325	△66,592
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,648	△206,099
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	42,648	△206,099

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,648	△206,099
四半期包括利益	42,648	△206,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,648	△206,099
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年9月28日開催の取締役会決議に基づき、2023年10月27日付で譲渡制限付株式報酬としての新株式発行を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金9,177千円、資本剰余金が9,170千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が837,948千円、資本剰余金が797,941千円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	オプティカル事業	ライフサイエンス・機器開発事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	724,861	56,446	327,991	1,109,299	-	1,109,299
計	724,861	56,446	327,991	1,109,299	-	1,109,299
セグメント利益又は損失(△)	244,971	△88,109	89,983	246,845	△215,042	31,803

(注) 1. 「調整額」の区分は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ライフサイエンス・機器開発事業」セグメントにおいて、収益性の低下に伴う減損損失を2,803千円計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	オプティカル事業	ライフサイエンス・機器開発事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	396,624	66,462	340,561	803,648	-	803,648
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	400	-	400	△400	-
計	396,624	66,862	340,561	804,048	△400	803,648
セグメント利益又は損失(△)	4,081	△85,972	39,065	△42,825	△244,403	△287,228

(注) 1. 「調整額」の区分は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ライフサイエンス・機器開発事業」セグメントにおいて、収益性の低下に伴う減損損失を1,837千円計上しております。